



# 日刊動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)  
電話 { (鉄電) 千葉2935・2939番  
(公) 043(222)7207番  
FAX 043(224)7197番

2000.9.28 No.5200

## 「シニア制度」- 検修全面外注化阻止!

### 闘争宣言発した9・26動労千葉総決起集会

「シニア制度」- 検修・構内  
全面外注化阻止! 9・26動労  
千葉総決起集会が、動力車会館  
において開催された。

一〇四七名の解雇撤回闘争  
検修合理化-シニア制度粉碎の

闘いを軸に闘い抜こう!

集会は、冒頭、本部・中野委員長が登壇し、「九月一三日に、検修大合理化の提案があり、シニア制度が具体化してきた。三名の仲間に対する差別に対し、不当労働行為で労働委員会へ申請している。年配の組合員を守りぬき団結力を示していきたい。闘いの第一の柱は、一〇四七名の解雇撤回闘争をめぐる動向であり、二回の臨大で通らなかつた四党合意-一票投票の実施となつているが、その内容は、JRに法的責任がないことを認めるという内容だ。これは労働組合への支配介入であり、その存在すら認めないということだ。一票投票という民主的形態をとつていくようにみえるが、規約にはないものだ。一〇四七名闘争をわれわれも今までは違つた立場で臨まなければならぬ。闘いの第二の柱は、検修合理化-シニア制度に対する闘いだ。九月一三日に提案された中身は、保守部門の全面的な外注化となつており、六〇才に到達した順に外注していくというものであ

り、施設部門では三〇〇名が職場を失う。シニア制度は年金制度を悪用したものだ。東日本のシニア協定は定年延長制度ではない。関連会社への斡旋にすぎない。つまりJR東日本は六〇才以上の労働者を雇わないというものであり、労働者だけが損する制度だ。これにより出向制度もなくなるなど選択肢がなくなつた。六〇才になつて再就職時に試験を行う。組合所属によつてそれすら行わない。鉄道で働いて四〇年にもなる労働者に対して、なぜ試験をやらなければならぬのか。人の道に反している。呑める内容ではない。なぜ分割・民営化に反対したのかが問われるものだ。あらゆる手段を講じて反撃する」とあいつをを行った。

続いて、弁護士・佐藤弁護士より、法的観点からシニア制度に対する違法性が明らかにされ、労働大臣への誓願、労働委員会へ申請を行ったことが表明された。

シニア制度-JR当局に怒り!

三名の仲間を支えながら闘う!

特別報告として、出向協議会・斉藤会長より、「シニア制度に対して、羽鳥君、三平君、浅野君の三名が闘争に決起した。心強く思っている。三名に敬意を表したい。これからの出向先労働条件を明らかにしながら三

名を支えながら闘っていきたい」と、続いて、当該の三名より「組合差別により、再就職先を拒否されている」と力強い決意を受けた。

検修合理化-全面外注化阻止!

自らの職場を守って闘おう!  
集会は、さらに検修部門から特別報告として、要員のいない実態が明らかにされ、怒りの決起が訴えられた。

闘争団を代表して、一票投票反対の意思表明、本部・田中書記長より基調が提起され、今後向こう一年間、自らの職場を守りぬく闘いへ、今日を出発点としようと全体が確認した。

## 9・26動労千葉総決起集会



斉藤会長

羽鳥さん

三平さん

各支部決意表明



大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!